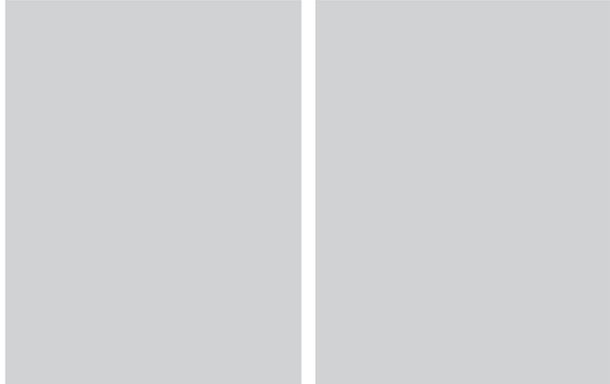


上町しぜんの国

園だより | 6月号 2022.6.9

ふれあいまぐろ
2022.5.25 (土)



園庭で水遊び。

バケツの中に、水が入っている。すると、そこに足を入れるHちゃん。足2本入れるのでいっぱいいっぱいなのに、大人に捕まり、バランスを取って入れようとする。

Hちゃんに続いて、Sちゃん、Mちゃんも入れる。

なんで？

なんでこんなに狭いバケツに、足を入れるのだろう。大きなバスタブがあることは知っているはずなのに。

自分が入れるのか試してみたい？あえて小さいから、入ってみたい？

そもそも、「ちいさい」なんて思っているのか？小さなバケツにあえて入るワケ。

どんな気持ちなんだろう。

6月の予定

子どもの声^①が聞こえてきたら

青山 誠

5歳児たちの4,5月～子どもが「ひみつ」をもつとき

5月は雨もあり、暑さもあり、なかなか気候が落ち着かない日々でした。

そうでなくても、5歳児たちの4,5月というのは不安定なものです。年長児というと、自信にあふれて園生活をさらに充実させていくというイメージを抱きがちですが、毎年保育をしていると、この時期の5歳児たちの心はさまざまに揺れるようです。

その要因はいくつか考えられます。

- ・まえの年長児たちが小学校に行き、遊び相手がいなくなった。またそのことで、遊び関係が変わっていかざるをえない
- ・新入園児にあわせてのスタートになるため、行動の制限がかかりがち。たとえば、園内でも階段などの扉が閉まっていたり、遠くへの散歩が控えられたりなどなど。

こういうさまざまな原因を、子どもは言語化しませんので（あるいは言語化したとしても、ちがう理由をあげたりする）、なんとなく登園をしづんだり、「だっこ～」が多くなってきます。

よく保育者のなかで「もう年長さんなんだから抱っこはおかしいよ」なんていう人もいますが、とんでもない、この時期は「(年長さんだからこそ)抱っこしてもらいたくなっちゃうよね」なんです。自分がどうしていればいいかわからないときに、とりあえず安心

な人にくっついていたい、こんなことに「～歳児だからおかしい」なんてありません。子どもたちを見ていていつも驚くのは、ほんとうにそのとき必要なことをちゃんとしているということです。おとなはそれを満たしてあげれば、子どもは自分で次をつくる力があると思います。

そんな5歳児たち（一部、4歳児もまじる）とミーティングをしました。保育者のKさんから、トイレにないしょでかくれていた子たちの話から（その子にはトイレには隠れないでと伝えた）、「みんな、ひみつってある？」という話題。

園でこんなふう「ないしょで〇〇する」という行動があらわれるのも、ちょうどこの時期で、だいたいそういうときは子どものほうが力を持って余していることが多いのです。

いろいろでしたが、「おとなのほうも実はひみつがあってさ、このまえ元気がない人がいたから、元気が出るようにみんなで素麺とか、いろいろ食べたんだよ、それでね、子どもに言う「たべたーい」となるからひみつで食べたよ、」と言ってみると、「ずるーい！」の大喝唱。「じゃあ、みんなも「ひみつのこと」なんか考えたらいいじゃん」と提案。

そうしたら、チョコバナナひみつで食べたい、とか、いろいろ焼きたい(バーベキュー?)とか、夜の暗いときに園にきたいとか、ひみつでかき氷食べたいとか、いろいろでした。

ひみつ話はもりあがります。子どもがひみ

つをもてる、楽しめるというのは成長としてはとても健やかなことです。自分と親とがきちんとして分離していつてもあるし、ひみつを共有できる社会的な間柄が家庭以外にもあるということでもあります。もちろんウソはいけません。この時期の「ひみつ」は容易に見抜けるというところがいいところ。もしウソをついたりしたら、「ママ(パパ)はお見通しだよ!!」と伝えてもいいでしょう。でもウソではなくて、たとえば遊びの中での「ひみつ」だったら見て見ぬ振りしてあげるのも、子どもと暮らすおとなの態度として「粋(いき)」なふるまいだと思います。

さて、今日もひみつのつづきで遊びがもりあがってました。朝からおばけをせっせと作る子、1くんたちは前の部屋を暗くして楽しんでます。

ミーティングになってもこの話題です。おばけやしきの日と、チョコバナナをつくる日が計画されていきます。

チョコバナナをつくるには～、とみんなで話し合い。まず、バナナとチョコを買う。買うにはお金がいる。お金どうする?という「うちからもってくるよ!」との意見もでたので、それはお断りして、「園のおさいふもってるのは、Fさんという人だよ」とFさんを連れてきて、みんなで「バナナかいたいから、おかねください」とお願い。

チョコバナナをつくるには～、バナナを切る包丁がいる、まな板もいる、チョコを溶かすボウルも必要。ということで、今度はキッチンMちゃんをつれてきて、「せーのっ、ほうちょうとか、ボールとか、わやわやわや…くださーい」

子どもの遊びは足し算でひろがっていきま。おとなが先に計画たててそのとおりに子どもを従わせるなんて、つまらないです。

そうそうミーティングの途中で、Sくんが「2階の子はおばけになっちゃだめだ」というので、「なんで」と聞くと、「だってふざけるから」とのこと。2階の子たちも「ふざけないよ」と反論。たんに遊びを広げていくということではなくて、こんなふう子ども同士のわりと真剣な意見が交わされます。それを通して、Sは「やるなら、ふざけないでほしいと思っているんだ」とか、言われた人たちも「そんなこと言っても…ふざけないし!」とか、自分の気持ちや他者の気持ちに出会っていく機会にもなっていきます。

どの子のどの意見がいいとか悪いとかではないんです。ミーティングや遊びを通して、みんなで育ち合っていきます。子どもはひとりひとりでは育たないのです。

というわけで、この話、ひみつですよ。



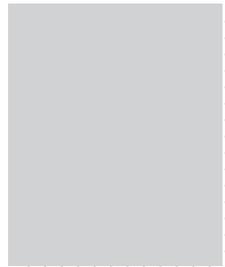
季節の手仕事

らっきょうの旬は5月下旬から6月、梅雨の時期だけの短い間。漬物にする前には、根を落としたり薄皮をむいたりと下ごしらえが必要です。らっきょうの成長は早く、そのまま置いておくとすぐに芽が伸びてしまいます。キッチンに納品されたその日に、子どもたちに声をかけ下準備に取りかかりました。

＼ちゃんは「くさいくさい」と言いながら黙々と皮をむきます。

「手がベタベタする！メープルシロップが付いているの？」と聞く＼ちゃん。

らっきょうはネギの仲間独特の匂いがあり、馴染みのない子もたくさんいると思いますが、食べやすいように定番の甘酢漬けにレモンを加えたものと、醤油と2種類漬けてみます。コリコリとしたおいしい食感を味わってもらえるといいなと思います。



らっきょうと同じく旬の時期が短い梅。園の梅の木には今年もたくさんの実がなっています。

梅シロップは、実を収穫して一つ一つ丁寧にヘタを取りながら梅の香りを感じ、氷砂糖と一緒に漬けて行く。でき上がっていく過程でゆっくりと砂糖が溶けて行く様子を見るのも面白く、一年の中でもこの時期しかできない季節の手仕事を子ども達と一緒に楽しみたいです。

－キッチン畑楠



キッチン旬だより

【梅】

梅に含まれるクエン酸やリンゴ酸などの有機酸には疲労回復効果があります。疲労物質である乳酸を体内で分解し新陳代謝を助けてくれます。

ただ、クエン酸は体内に溜めておくことができないので、吸収されなかった分は体外へ排出されてしまいます。回数を分けてこまめに摂ることが大切です。

疲れる前に摂っておくことで、エネルギーを効率的に生み出して疲れにくくしてくれます。



保健だより

梅雨入りしましたね。

暑かったり、寒かったり、気温差によるストレスを体が受けやすい時期です。また気圧の上がり下がりによって頭痛などが出やすい人もいるかもしれません。

梅雨の時期は、低気圧の影響で副交感神経が優位になりがちなので、睡眠はよくとるようにして、朝から交感神経が働くように、体に陽の光を取り入れて朝ごはんを食べて体内時計をリセットするようにしましょう。

副交感神経が優位になると、リラックスできてよさそうですが、消化管がよく動くようになるため人によっては下痢気味になる人も。この時期は体内の水分をうまく発散しにくかったりもするので便が緩くなったりしやすいかもしれません。

起きている時は、活動する自律神経である交感神経が優位になることが体にとっては自然なので、子どもも活動しやすいように生活を整えてあげることが必要です。

お子さんの生活リズムや、朝ごはながきちんと食べれているかどうかを再度見直してみてもいいかもしれませんね。(我が家も。。。^^;)

－看護師 通山

◎感染症状況(5月中)：アデノウイルス感染症4名、感染性胃腸炎2名

職員 の 声

山菜採りの by 龍野 (りゅうの)
 毎年、楽しみにしている事の
 一つです。矢張り合いの大エさん
 (80歳!) に見つけ方や、摘み方を
 いちから教わり弟子入りしてはや
 4年! まだまだ修行の道は続き
 ますが今年も師匠について行来
 たいと唄います。いつか上町の
 子どもたちと一緒に行きたい
 なあ。

こんにちは!
 ようちゃんち(1F)のさあやです😊

 実は私、今年度に入って一人暮らしを
 始めたんです~! 初めての一人暮らしは
 色々やることあるけど、最近ようやく慣れてきて
 楽しくています♪
 自炊も今はまだがんばってます(笑)
 簡単なレシピがあれば教えて下さい!!(笑)
 辺近のいいお店もぜひ
 あてまーす!! さあや(松店)

3人の子供も巣立っ
 しまい。庭で『NOZAKI FARM』
 で野菜を育てている 老婦。夏が近づく
 2人で楽しみに苗選び。土作り。「茶が出た!」
 「恵みの雨!」 「陽よけしてあげないと...」と
 まるで子育てと一糸者なんだなあと感じる。
 お店で買ったとしても旬の物、これからに
 良いらしい。歳を重ねると
 素敵だなあ のびき

なげんち
 (いのちあさけ)

突然ですが...
 レモンのお菓子が大好き!
 な私。この時期になると、レモン
 系のおやつがいろんなところで売って
 いるのでウキウキします! そのいえば、
 桜もちも大好きで、その時期は、
 タイミングさえ合えば何度でも買って
 (ま) ...。結局、"季節限定"
 に、弱いのかもしれない(笑)
 (季節モノって、なげんち
 いいですねえ...)